



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月2日

上場会社名 株式会社テクノフレックス 上場取引所 東  
 コード番号 3449 URL <https://www.technoflex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 前島 岳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員管理本部長 (氏名) 川上 展生 TEL 03-5822-3211  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	5,142	△7.4	509	△42.1	498	△44.9	325	△44.7
2022年12月期第1四半期	5,553	24.9	878	18.4	905	14.5	588	20.7

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 401百万円 (△55.1%) 2022年12月期第1四半期 893百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	17.75	17.71
2022年12月期第1四半期	32.24	32.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	32,112	22,388	68.7
2022年12月期	33,052	22,590	67.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 22,060百万円 2022年12月期 22,273百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	21.00	—	33.00	54.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,000	9.4	1,300	△13.9	1,300	△18.6	850	△46.8	46.55
通期	25,500	15.0	3,300	19.9	3,300	7.8	2,200	△8.8	120.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	21,360,000株	2022年12月期	21,360,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	3,045,936株	2022年12月期	3,047,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	18,313,086株	2022年12月期1Q	18,245,364株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

2022年4月1日付で当社が連結子会社であった株式会社アクアリザーブを吸収合併したことに伴い、セグメント区分を見直した結果、前第2四半期連結会計期間より、従来「防災・工事業」に含まれておりました株式会社アクアリザーブの事業を「継手事業」に含めて記載する方法に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値にて比較しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、物価上昇による世界的な金融引締めや円安が続く中、欧米発の金融システム不安による信用収縮懸念等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは前年度の事業環境好転による好業績の反動により、当第1四半期連結累計期間は、継手事業等の主要な事業セグメントにおいて売上が減少し、減収減益となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,142百万円(前年同四半期比7.4%減)、営業利益509百万円(前年同四半期比42.1%減)、経常利益498百万円(前年同四半期比44.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益325百万円(前年同四半期比44.7%減)となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次の通りであります。

#### (継手事業)

フレキシブル継手の売上が堅調に推移いたしました。前年度好調であった半導体関連の真空機器の売上が端境期のため減少したこと等により、当事業全体としては減収減益となりました。

その結果、当事業の売上高は2,867百万円(前年同四半期比11.5%減)、セグメント利益は462百万円(前年同四半期比20.0%減)となりました。

#### (防災・工事業)

前年度に利益率の高い大型案件の完成があったことに加え、原材料価格の上昇に対して顧客への価格転嫁を進められなかったこと等により、大幅な減収減益となりました。

その結果、当事業の売上高は1,194百万円(前年同四半期比8.8%減)、セグメント利益は133百万円(前年同四半期比62.1%減)となりました。

#### (自動車・ロボット事業)

産業機器等部品の売上が増加したことにより当事業全体の売上は増加いたしました。売上原価の増加等により増収減益となりました。

その結果、当事業の売上高は631百万円(前年同四半期比11.2%増)、セグメント利益は27百万円(前年同四半期比38.5%減)となりました。

#### (介護事業)

前年度半ば以降に他社の福祉用具レンタル事業を買収したこと等により、当事業全体の売上は微増となりました。当該買収によるのれん償却費等の販管費増加等により大幅な減益となりました。

その結果、当事業の売上高は422百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期比70.7%減)となりました。

#### (その他)

不動産賃貸事業は、業績に特段の変化は見られませんでした。

その結果、当事業の売上高は25百万円(前年同四半期比0.1%減)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期比6.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の総資産については、主に現金及び預金326百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産733百万円の減少等により、前連結会計年度末と比較して940百万円減少し、32,112百万円となりました。

負債については、買掛金168百万円の減少、未払法人税等161百万円の減少、引当金225百万円の増加、未払費用を含むその他流動負債399百万円の減少、長期借入金138百万円の減少等により、前連結会計年度末と比較して738百万円減少し、9,724百万円となりました。

純資産については、主に配当による利益剰余金279百万円の減少、その他の包括利益累計額64百万円の増加等により、前連結会計年度末と比較して202百万円減少し、22,388百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年2月10日に公表しました2023年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,233,799	5,907,566
受取手形、売掛金及び契約資産	5,929,520	5,195,739
リース投資資産	759,494	745,014
商品及び製品	1,105,693	1,221,538
仕掛品	608,159	581,482
未成工事支出金	131,366	116,580
原材料及び貯蔵品	2,680,740	2,804,018
その他	354,396	375,853
貸倒引当金	△16,033	△16,379
流動資産合計	17,787,137	16,931,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,012,281	4,954,746
土地	5,769,678	5,769,678
その他（純額）	2,817,217	2,861,079
有形固定資産合計	13,599,177	13,585,504
無形固定資産		
のれん	251,618	235,792
その他	487,006	471,493
無形固定資産合計	738,624	707,285
投資その他の資産	927,900	888,398
固定資産合計	15,265,702	15,181,188
資産合計	33,052,840	32,112,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,690,210	1,521,994
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	685,933	608,338
未払法人税等	288,128	126,329
引当金	20,358	245,749
その他	1,819,908	1,420,336
流動負債合計	4,804,539	4,222,747
固定負債		
長期借入金	4,471,888	4,333,328
引当金	15,691	15,691
退職給付に係る負債	262,720	260,369
資産除去債務	22,080	22,080
その他	885,608	870,250
固定負債合計	5,657,989	5,501,719
負債合計	10,462,529	9,724,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	509,905	510,409
利益剰余金	20,789,015	20,509,844
自己株式	△929,028	△928,540
株主資本合計	21,369,892	21,091,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,667	45,236
繰延ヘッジ損益	7,979	—
為替換算調整勘定	846,241	923,298
その他の包括利益累計額合計	903,887	968,535
非支配株主持分	316,531	327,887
純資産合計	22,590,311	22,388,137
負債純資産合計	33,052,840	32,112,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,553,702	5,142,102
売上原価	3,546,941	3,541,460
売上総利益	2,006,761	1,600,641
販売費及び一般管理費	1,128,158	1,091,523
営業利益	878,602	509,118
営業外収益		
受取利息	3,023	2,497
為替差益	25,058	—
作業くず売却益	4,536	5,740
その他	6,391	8,504
営業外収益合計	39,010	16,742
営業外費用		
支払利息	4,963	12,085
為替差損	—	9,680
売上債権売却損	5,572	4,168
その他	1,219	1,108
営業外費用合計	11,756	27,043
経常利益	905,856	498,817
特別利益		
固定資産売却益	—	1,239
特別利益合計	—	1,239
特別損失		
投資有価証券評価損	2,943	—
固定資産除却損	—	2,530
特別損失合計	2,943	2,530
税金等調整前四半期純利益	902,912	497,526
法人税等	311,747	168,048
四半期純利益	591,164	329,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,011	4,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	588,153	325,140

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	591,164	329,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,740	△4,430
繰延ヘッジ損益	△2,418	△7,979
為替換算調整勘定	296,045	84,076
その他の包括利益合計	302,367	71,666
四半期包括利益	893,532	401,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,438	389,788
非支配株主に係る四半期包括利益	22,094	11,356



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	継手事業	防災・ 工事業	自動車・ ロボット 事業	介護事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,240,095	1,310,311	568,503	409,388	5,528,297	25,404	5,553,702	-	5,553,702
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,274	71,497	-	1,680	84,451	7,354	91,806	△91,806	-
計	3,251,369	1,381,808	568,503	411,068	5,612,749	32,759	5,645,508	△91,806	5,553,702
セグメント 利益	578,478	352,834	45,153	31,513	1,007,980	8,877	1,016,857	△138,255	878,602

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△138,255千円には、セグメント間取引消去1,926千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,181千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	継手事業	防災・ 工事業	自動車・ ロボット 事業	介護事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,867,276	1,194,984	631,995	422,475	5,116,732	25,370	5,142,102	-	5,142,102
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,862	12,363	-	-	27,226	7,919	35,146	△35,146	-
計	2,882,139	1,207,348	631,995	422,475	5,143,958	33,290	5,177,248	△35,146	5,142,102
セグメント 利益	462,614	133,720	27,751	9,230	633,316	9,422	642,738	△133,620	509,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△133,620千円には、セグメント間取引消去1,252千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,873千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、当社が当社の連結子会社であった株式会社アクアリザーブを吸収合併したことに伴い、管理区分を見直した結果、従来「防災・工事業」に含まれておりました株式会社アクアリザーブの事業を「継手事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、このセグメントの変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に組替えて表示しております。